

東京証券取引所が公表した 「資本コストや株価を意識した経営」事例掲載のお知らせ

ワークデザインを手掛ける株式会社ヴィス（本社：東京都港区、代表取締役：金谷智浩、以下ヴィス）は、東京証券取引所が公表した「資本コストや株価を意識した経営」に関する「課題解決に向けた企業の取組み事例」として、当社が2025年11月12日に開示した資料が掲載されましたので、お知らせいたします。

記

掲載先：[資料5 事例集2025_スタンダード市場編（事例4 P11~14）](#)

【投資家の評価ポイント】

高ROEを背景にPBRは1倍を超えており、PERは同業他社より低く、成長余地を自覚し、バランスシートの最適化や成長投資の推進などに取り組む。株主・投資家から寄せられた意見を参考に改善を進めるなど、株主・投資家の目線を意識しながら、企業価値向上に向けて積極的に取り組もうとする姿勢を感じる。

事例4 ヴィス(5071)① → **スタンダード** → **サービス業**

現状分析: 株価指標

高ROEを背景にPBRは1倍を超えており、PERは割安傾向と認識。

期間	PBR	PER
21Q	1.40	15.2
22Q	1.20	12.5
23Q	1.52	10.5
24Q	1.50	8.9
25Q (予)	1.50	7.6

ROEの推移(%)

期間	ROE (%)
21Q	9.7
22Q	17.2
23Q	18.6
24Q	18.6
25Q (予)	21.4

PERの推移(倍)

期間	PER
21Q	15.2
22Q	7.8
23Q	8.9
24Q	9.5
25Q (予)	7.6

※ROEの算出には、自己資本の期首・期末の平均額を用いております。

投資家の評価ポイント

高ROEを背景にPBRは1倍を超えており、PERは同業他社より低く、成長余地を自覚し、バランスシートの最適化や成長投資の推進などに取り組む。株主・投資家から寄せられた意見を参考に改善を進めるなど、株主・投資家の目線を意識しながら、企業価値向上に向けて積極的に取り組もうとする姿勢を感じる。

市場評価の適正化

PERは同業他社と比較し相対的に低く、上昇余地があると認識。成長期待の醸成、IR活動の強化を通じて、PERの上昇を目指す。

会社	PER(倍)
Viis	9.5倍
ダイヤモンドA	11.5倍
ダイヤモンドB	12.5倍
ダイヤモンドC	13.5倍
ダイヤモンドD	14.5倍
ダイヤモンドE	15.5倍
ダイヤモンドF	16.5倍
ダイヤモンドG	17.5倍

成長期待の醸成

- 戦略的投資や成長ストーリーの発信
- PR活動の強化

IR活動の強化

- 開示情報の拡充
- 投資家との対話促進
- 認知向上による出来高の増加

出所：株式会社ヴィス 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応（2025年11月12日） 4 / 16ページ
<https://vis-produce.com/pdf/ir/management.pdf>

当社は引き続きステークホルダーの皆様との建設的な対話を通じて、企業価値向上に努めてまいります。

掲載内容詳細：「資本コストや株価を意識した経営」に関する「課題解決に向けた企業の取組み事例」の公表等について（東京証券取引所ホームページ）

<https://www.jpx.co.jp/news/1020/t13vrt000000dlmu-att/t13vrt000000dlqh.pdf>

当社開示内容：「資本コストや株価を意識した経営について」

<https://vis-produce.com/pdf/ir/management.pdf>

以上

【会社概要】

社名：株式会社ヴィス

代表者：代表取締役会長 中村 勇人 代表取締役社長 金谷 智浩

事業内容：ブランディング、データソリューション、プレイスソリューション

設立：1998年4月13日

上場市場：東京証券取引所 スタンダード市場（証券コード：5071）

HP：<https://vis-produce.com>

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社ヴィス IR 担当

E-mail：ir@vis-produce.com